

広島を歴史を学ぶために

「歴史が好きだ」「広島に歴史に興味がある」「でも、どうやって歴史を学んでいったらいいのかわからない」という方々のために、広島を歴史を学ぶための基本的な道筋を、県立広島大学教授 秋山伸隆さんがお話しします。

第1回は、県史・市町村史等の文献の利用の仕方を、第2回は、史料の読み方を練習してみましょう。

第一回

12月12日(木) 午前10時～正午

「歴史を学ぶための第一歩」

第二回

12月19日(木) 午前10時～正午

「歴史をより深く学ぶために」

*詳しくは、裏面をご覧ください。

- 対象:これから歴史を学びたいと思っている方
- 定員:50名(先着順)
- 日時:平成25年12月12日(木)、19日(木) 午前10時～正午
(全2回)
- 講師:県立広島大学 教授 秋山伸隆 さん
- 会場:広島市二葉公民館 6階研修室 1
広島市東区東蟹屋町9番34号(東区役所となり)
- 参加費:無 料
- 主催:財団法人広島市未来都市創造財団文化財課・二葉公民館
- 協力:財団法人広島市未来都市創造財団中央図書館
- 申込:二葉公民館の窓口または電話(☎262-4430)
でお申込みください。 *12月1日(日)から受付を開始します。

広島を 歴史を 学ぶために

第一回

12月12日(木) 午前10時～正午

「歴史を学ぶための第一歩」

広島を歴史を学びたいと思ったら、まず広島市立中央図書館(中区基町3番1号)を訪ねてみましょう。3階にある広島資料室には、『広島県史』『新修広島市史』をはじめとする資料がたくさん揃っています。地域の歴史を学ぶための基本的な図書は、やはり県史・市町村史です。ただし巻数も多く、一冊が千ページ以上あり、どこから読んでいいのかわからず、途方に暮れてしまいます。まず、県史・市町村史をはじめとする文献の利用の仕方から説明しましょう。

第二回

12月19日(木) 午前10時～正午

「歴史をより深く学ぶために」

広島を歴史をより深く学ぶためには、自分で「史料」を集め、読み解いていく必要があります。ここでいう「史料」とは、いわゆる古文書のことです。でもいきなり「くずし字」の読むのは無理です。まずは活字になっている史料を読む練習から始めましょう。歴史の叙述の基礎となる史料を自分で読むことができれば、たとえ小さなことでも、「新しい発見」を楽しむことができるでしょう。